



こーひーぶれいく

大人の修学旅行

片岡 賢英

Kataoka Yasuhide

毎年、各地で開催された放射線安全取扱部会年次大会（放射線管理研修会）、旧主任者年次大会（主任者研修会）終了後、そそくさと消えて行く一団をお見かけされたことがあると思います。たぶんその一行は、医系グループと称して、医学系大学で放射線管理実務を行っている者たちの一団です。筆者もそのグループにおり、30年近く前になりますが想い出を披露いたします。

本グループは、草の根ネットワーク（平成6年度）ができる以前から、「〇〇先生」ではなく、「〇〇さん」と呼び合い、医学系大学特有の放射線管理に関する悩みを共有していました。しかし、主任者年次大会の出張期間中では、懇親会や飲み会での話し合い程度しか交流できず、深く掘り下げた意見交換が出来ませんでした。そこで、平成7（1995）年度に仙台国際センターが会場で開催された主任者年次大会後に「医系グループ研修会（主任者部会第2部）」と称して、実施したのが始まりです。その年の年次大会は11月1、2日に開催され、3日（金祝）、4日（土）、5日（日）と、大会後に連続する休みが3日間あったことも好都合でした。恒例の大会後の視察調査は、RI協会滝沢研究所・平泉中尊寺コースが用意されており、滝沢研究所を視察した後は、盛岡駅で途中下車が可能であったことも打ってつけで、筆者らの研修会は下北半島方面で行うこととしました。

当時、本研修会の参加可否の問い合わせは、医系グループ参加者へ郵便による案内通知を行い、回答はFAX又は郵送によるものでした。それでも、無謀とも思える本研修会の参加者は、男性：12名、女性：2名、計14名となりました。

第1回目に当たる本研修会の行程は、以下のと

おりでした。

◆1日目：2日（木・主任者年次大会終了後）

JR盛岡駅→JR盛岡駅発16：38（駅のホームで集合）→JR野辺地駅着18：22→民宿

◆2日目：3日（金祝）

民宿→六ヶ所原燃PRセンター（見学）→三途ノ橋（恐山）→奥薬研温泉（露天風呂：かっぱの湯）→大間町（本州最北端の地）→仏ヶ浦→民宿

◆3日目：4日（土）

民宿→環境科学研究所（研修会）→野辺地駅（第1回目解散）→奥入瀬渓谷（観光）→民宿

◆4日目：5日（日）

民宿→JR三沢駅→三沢空港（最終解散地）

1日目のJR野辺地駅以降のすべての移動は、レンタカーを用いました。現在のように、「カーナビ」や「携帯電話」が一般に普及していなかった時代であり、旅行雑誌に添えられた地図と参加者が持参した携帯電話1台のみが頼りでした。民宿への到着時間が遅くなり、道に迷っていないかと民宿関係者が探しに出られたこともありました。民宿を貸し切っていたため、宿屋の配慮だったと思います。

夕食後は、1つの部屋に集合し深夜まで、参加者が持参した土産を肴に、移動途中の造り酒屋で買った日本酒を酌み交わし、RI使用施設の維持管理等の悩みについて話し合いを行いました。

更に、本研修会のもう1つの目的である、知見を広くするための放射線関連施設の見学等においては、環境科学研究所を見学させていただきました。土曜日にも関わらず、見学を快く引き受けていただき、本当にありがたかったです。

コロナ禍により、令和元年を最後に年次大会がWeb化し、本研修会を実施できていない状況ですが、年次大会が現地開催されるようになった暁には、親睦や意見交換会等を踏まえ、研修会を再開していきたいと思っています。

なお、本企画・準備等を担当したのは、東海大・横田、東京医科大・久嶋及び筆者でした。

（慶應義塾大学医学部）